

令和8年2月定例教育委員会会議録

- 1 日 時 令和8年2月3日（火）10時
- 2 場 所 市庁舎本館4階 第1委員会室
- 3 出席者 教育長 蔵元洋一
教育委員 太田かおり、八木秀和
鶴田弥生、田中健一郎
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 教育部長 清水秀一
教育総務課長 山口研治
学校教育課長 船元幸徳
指導室長 靄 浩二
生涯学習課長 大畑祐一郎
教育総務課課長補佐 近野久幸
学校教育課課長補佐 濱田大輔
学校教育課課長補佐 掛橋賢議
生涯学習課課長補佐 吉田浩之
教育総務課教育総務係長 秦 薫
- 6 傍聴人 4人
- 7 議事日程 別紙のとおり
- 8 議事次第 別紙のとおり

定例教育委員会議事日程

令和8年2月3日(火)10時00分

1 会議録の承認

令和8年1月定例教育委員会の議事録の承認

2 報告事項

- (1) 令和8年2月学校教育行事及び社会教育施設行事について
- (2) 中間市新中学校施設整備実施計画(案)に関する市民意見提出手続
(パブリックコメント)の実施について
- (3) 体育文化センターとハーモニーホールの雨漏りについて

3 協議事項

- (1) 令和8年3月定例教育委員会の日程について

[開会時刻：10時00分]

蔵元教育長 定刻となりましたので、令和8年2月定例教育委員会を開催いたします。
それでは、レジュメに沿って進めさせていただきます。
まず、会議録の承認です。令和8年1月定例教育委員会の議事録の承認についてお諮りをいたします。いかがでしょうか。

教育委員 <承認>

蔵元教育長 ありがとうございます。それでは、報告事項に移ります。
令和8年2月学校教育行事及び社会教育施設行事についてそれぞれ説明をお願いします。

鶴指導室長 2月の学校行事について説明します。
共通行事についてです。
本年度から導入した「校務支援システム」の活用を充実させるための説明会を2日月曜日と25日水曜日に行います。校務支援システムは、児童生徒の基本情報や出欠情報、成績、年間指導計画など、教育現場で扱うさまざまなデータを電子化して集約することができるツールで、教員が担うあらゆる業務を効率化し、負担を軽減することにつながることを期待されます。より円滑に効果的に活用が進むよう年度内に4回計画しており、第4回は3月2日を予定しています。
続いて、17日火曜日に、学力向上検証委員会を開催します。中間市の教育目標である「未来を切り拓く力」を子供たちに育むために、中間市が目指す子供の姿や授業改善の方向性等をまとめた別添資料(Q&A)を指導室で作成し、これまで各学校で共通理解を図ってきました。今回の検証委員会では、来年度から、各学校の実態に合わせて、具体的な取組が進められるよう、県教育委員会の指導助言をいただきながら、共通実践に努めるようにしています。また、誰一人取り残さず次の学年へ課題を持ち越すことのないよう、別添資料の「3学期の学力向上強化の取組」を確認してまいります。24日火曜日には、中間市初任者研修の閉講式を行います。本年度小学校8名、中学校3名、計11名の初任者の先生が、1年間の初任者研修を振り返り、これからの教員生活に向けての新たなスタートとしての節目の場にしたいと考えています。
続いて、各学校の行事です。

まず、小学校ですが、全ての学校で3日火曜日に新入児保護者説明会が実施されます。説明会では、1日の学校生活の流れや年間の学校行事、学用品や登校の仕方についての説明、また、養護教諭や栄養教諭等から、保健関係やアレルギー関係、事務の先生から校納金や就学援助などの説明が行われます。

続いて、中間小で19日木曜日、北小で25日水曜日、南小で26日木曜日にフォローアップ訪問が行われます。これは、学校の学力向上に向けた計画や取組の改善を図ることを目的に行われるもので、校長の学校経営や戦略に対して、教育事務所と市教委が連携して指導助言を行ってまいります。

続いて、小学校では「6年生を送る会」が、底小では28日土曜日に、東小、中間小、北小、西小が27日金曜日に、また、中学校でも「3年生を送る会」が27日金曜日に、中間中、東中、南中で計画しています。小学校では、中学進学を控えた6年生に対してのエールと今までの感謝の気持ちを込めて、各学年から合唱や合奏、呼びかけなどの出し物が予定されています。中学校では、生徒会が中心となって、卒業生の3年間の思い出や転出された先生からのメッセージを動画にしたりしているとのことです。南小、北中は3月を予定しています。そして、中学校では、高校入試が本格的にスタートします。3日火曜日に公立推薦・特色化入試が、5日木曜日からは私立高校の一般入試が行われます。また、学期末の期末考査が18日から20日に行われます。

蔵元教育長 只今の説明について、ご意見ご質問等はございますでしょうか。田中教育委員。

田中教育委員 中間中の16日と17日の学び合いタイムについてです。行事予定を見ますと中間中だけのようですが、内容について教えてください。

靄指導室長 各学校が考査前に質問教室を行っております。中間中では、全生徒を対象に補充的な学習を実施した後、残りの時間で希望者を対象に学び合いタイムを実施しています。学び合いタイムでは、希望者を中心に生徒同士が教え合い、先生が支援する方法で実施しています。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。田中教育委員。

田中教育委員 今のお話を聞きますと、生徒同士の教え合いが特徴のようで、まさに学

び合いなのですが、卒業して社会に出たら、教師と生徒という関係の教育の場だけではなく、職場での教育など、いろいろなことが想定されます。そういうことを考えますと、生徒同士の教え合いということで、お互い刺激を与えたり、もらったりすることで、効果が出る生徒もいますし、また何より学ぶ意欲の向上、それからコミュニケーション能力の育成、そういう面からも非常に効果が期待できる行事ではないかと思っています。これからの成果に期待しているところです。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。八木教育委員。

八木教育委員 1点目は、共通行事の校務支援システム説明会についてです。校務支援システムは、かなりの金額をかけて導入したシステムだと思います。先ほど、どのような機能かご説明いただきましたけれども、こちらは先生たち全員が見れるようになっているのか、オンラインにつながっているのか、その場合、セキュリティー等、個人情報がたくさん載っていますので、そういったところも含めて万全になっているのかどうか。また、働き方改革に対する目的もあったと思いますが、先生たちの働き方改革にこのシステムがどのように影響しているのかというのを教えてください。

2点目は、フォローアップ訪問の取組をされていますが、対象となる児童はどのように選定されているのか、全員ではないと思うので教えてください。

鶴指導室長 1点目の、校務支援システムについてです。こちらは、学校の教員、それから事務官が使えるようになっております。セキュリティー面につきましても、万全に業者と連携しながらやっているところがございますので、これまでよりも、より安全な状況になってきているものと思います。

2点目のフォローアップ訪問についてです。やり方としましては、全学級で行われている授業を北九州教育事務所の主幹、指導主事、それから中間市教育委員会で、授業の様子を参観しまして、その上で校長先生と教頭先生と主幹の先生を対象として、学校の取組だとか戦略だとかについて助言をするもので、どちらかという管理職のためのサポートという感じの意味合いになっております。

蔵元教育長 校務支援システムについてですが、学籍情報であったり、成績であったり、プライバシーに関するものが非常に多く含まれるのは、分かっている

るのですが、これについては、小学校、中学校と市教育委員会の全てで閲覧が可能なのでしょうか。

鶴指導室長 市教育委員会でも各学校の情報の把握は出来るということです。

蔵元教育長 情報というのは、クラウドに預けるのでしょうか。

船元学校教育課長 閉鎖空間クラウドに預けるような形です。

蔵元教育長 一応これについても、入れる時に財政当局ともかなり侃々諤々^{かんかんがくがく}やって、やっと導入が出来たものです。教員の負担は、今まで手書きで写していた、そういった転記のミスであったり、あと保管、保存の方法、そういったものについても教員の負担を減らすことができます。早く楽に正確にということを目標に入れたものであったと思います。
先ほど、八木教育委員からの指摘もあったようにセキュリティーに関しても、細心の注意を払っていただきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

鶴指導室長 先生方も慣れるまでは、働き方改革という視点では時間がかかると思います。慣れてくれば、必ず先生方の業務負担軽減につながるものだと思います。

八木教育委員 関連して、先生方は皆さん見れるような形になると思うのですが、当然クラウド上に預けるということで、IDパスワード管理をされると思っています。データの持ち出し等、よく新聞などで見るのは、自宅に持って帰って仕事をした際に、情報漏えいになるとか、例えばUSBメモリーに落とせるのかどうか等も気になりますので、その対策もしていただきたいと思います。
もう1点は、保護者の観点から言うと、毎年、年度の初めに手書きで住所とか、職場の情報とかを書くとあります。子供が1人だったら良いですが、2人、3人いると結構な量になってきます。このようなものとも将来的につながるのでしょうか。オンライン上で保護者が1つ入力すれば、それが毎年反映されるとか、そういったところにつながるのかどうか教えてください。

- 鶴指導室長 今すぐ分かりかねますので、確認をしてからご回答いたします。
- 蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。田中教育委員。
- 田中教育委員 市内各小中学校において、2月の行事にもありますが、毎月、いじめ不登校対策委員会を開催していますが、令和6年度については減少ということで聞いています。令和7年度のいじめ不登校については、どのような状況にあるのか教えてください。
- 鶴指導室長 令和に入って増え続けていた市内の不登校あるいは不登校兆候の数ですが、昨年度、大幅に減少いたしております。本年度も、12月現在の状況では、大きく減少いたしました。昨年度をやや下回るペースで推移をしている状況でございます。
- 田中教育委員 とても良い傾向だと思うのです。今全国的に見ると確実にいじめ不登校が増えています。大きな問題になってマスコミでもかなり取上げられています。中間市が減少に至った要因等を把握されているようでしたら教えてください。
- 鶴指導室長 不登校が今中間市で減ってきている要因として、教育委員会で考えている内容といたしまして、1つは不登校児童生徒に対する支援と、もう1つは、やはり新たな不登校を生まない取組、これが効果的だったのではないかと考えています。特に、不登校になる手前の不登校兆候の子供たちへの働きかけが、効果的だったのではないかと思います。不登校の割合が高かった中間中校区に、県の事業で令和4年度から4年間、スクールソーシャルワーカーを配置していただいたことで、不登校兆候の子供たち、あるいは保護者に対して、福祉の専門家の立場から、学校と一緒にサポートをしてもらったという成果が大きいのではないかと考えております。ただ、この事業が、本年度で終わってしまいますので、学校教育課といたしましても、学校だけでなく、福祉を巻き込んだ体制づくり、これをさらに強化していくためにも、来年度予算に、中間中校区のスクールソーシャルワーカーの配置をあげているところでございます。
- 田中教育委員 ただいまの回答を聞き、いじめ不登校について、中間市においては改善の方向にあることがわかり、少し安心したところです。しかしながら、

その一方で、生徒間の暴力行為の配信など重大事態が社会問題となっている現状を踏まえ、そのような事態がいつ市内の学校に発生してもおかしくないことであり、学校現場の先生方のご苦勞は計り知れないものがあると思います。まずは、先ほど言われましたスクールソーシャルワーカーは、家庭にも踏み込んでいけますので、スクールソーシャルワーカーやまた特別支援教育の指導員等、様々な事象に対して、柔軟かつ機動性に富んだ職員の配置が、いじめ不登校の早期発見、早期対応に向けた今後の学校体制づくりの優先事項であると考えます。人員の増員、適正な配置をぜひともお願いします。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。太田教育委員。

太田教育委員 1点目は、西小以外には、例えば底小の10日に家庭学習習慣というのが入っているかと思いますが、この具体的な取組の内容と、それから4月から新年度始まって2月というこの時期に、家庭学習習慣が設定されている理由がございましたら教えてください。もしくは、毎月や定期的で開催されているようであれば、その状況も教えてください。

2点目は、授業参観が平日に開催されることについてです。土曜日がお休みということもあるかもしれませんが、保護者の方になるべく子供たちの日常の姿は見ていただきたいと思うところです。今後も、この平日開催を行っていくのかということと、保護者が例年どのくらい参加されているのか状況を教えてください。

鶴指導室長 1点目の家庭学習週間につきましては、中学校の期末考査の時期に合わせて各学校それから校区で設定をしております。その時期に合わせて各小学校では、家庭にも呼びかけをいたしまして、しっかりと家庭と連携をとりながら学習をして、家庭学習を充実させていきたいと思います。

内容については、各学校で様々な取組をしているといったところになります。

2点目の授業参観につきましては、小学校では、2月に各学校で授業参観を設定しております。これは1年間の子供たちの成長した姿を見てもらうために2月のこの時期にしております、どちらかというと、この1年間の学習の成果を見てもらうための発表会的なものを計画していることが多いようございます。参加者の割合ですが、平日ですけれども、やはり保護者の方々の関心が高いようで、私も授業参観があっていると

きは、学校に行くようにしていますが、かなり多くの参加の率だと思っております。

太田教育委員 ありがとうございます。安心いたしました。
特に、小学校で家庭学習の習慣形成というのは、非常に重要だと思います。
中学校の期末考査の時期ということは、年に何回かの設定があるのかと思いますが、可能であれば4月、5月、6月の年度が始まった頃に、このような家庭学習習慣が少しずつ緩やかに形成されていくと良いと思っております。よろしく願いいたします。

鶴指導室長 各学期に1回ずつくらいは、小学校で家庭学習週間を設定していると思います。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。
ないようですので、続きまして社会教育施設行事について説明をお願いします。

大畑生涯学習課長 2月の社会教育施設の行事について、主なものをご説明いたします。
中央公民館事業です。
新しい講座はありませんが、連続講座であるきらめき大学は、小倉記念病院の医師である曾我義光氏をお招きし、あしの血管のお話と題しまして講演を行っていただきます。また、りふればーくは、蕎麦職人の岡本道和田氏をお招きし、「子どもも喜ぶエコなおやつ作り」の実技指導を行います。
次に体育文化センターです。
1日日曜日9時より、第13回中間市ペタンク大会を開催しました。参加料が1チーム1,000円で、参加資格は中学生以上の3人1組のチーム構成による、中間市在住、在勤、在学の方及び中間市内の活動団体となっております。当日は、20チーム76名の参加があり、熱戦が繰り広げられ、通谷1区Bチームが優勝いたしました。
22日日曜日9時より、第63回中間市卓球大会が開催されます。団体戦は自治会単位での出場とし、個人戦は一般の部、シニアの部、初心者部でそれぞれ男子と女子の部となります。
参加料は1チーム1,500円で個人戦は無料となっております。
その他、定例のなかま元気スポーツクラブ及びスポーツ協会自主事業の

各種教室を開催予定といたしております。

次に図書館です。

1日から28日まで、岡本雄司氏の絵本「くるまにのって」の「パネル展」を開催いたします。

8日日曜日14時から多目的室におきまして、なかま朗読の会朗めぐりの皆様による冬の朗読会を開催します。定員は20名程度を予定しています。

22日日曜日14時から多目的室におきまして、冬の名画シアターが開催されます。作品は「九十歳。何がめでたい」の上映会となり、定員は25名を予定しています。

次にハーモニーホールです。

7日土曜日14時00分より、大ホールにおきまして、「吉田兄弟コンサート - 極生 -」を開催します。1999年にメジャーデビューし、その実力は世界でも認められ、アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど世界各国でも積極的に活動している吉田兄弟の生音による津軽三味線のコンサートです。入場料は一般が5,000円、会員が4,500円です。

以上が社会教育施設の主な行事予定でございます。

蔵元教育長 只今の説明について、ご意見ご質問等がございますでしょうか。鶴田教育委員。

鶴田教育委員 体育文化センターの行事を見まして、中間市でもいろいろなスポーツ大会が行われていて良いことだなと思いました。
教育委員になりまして行事予定で確認出来ていなかったと思ひまして質問させていただきます。

中間市のパラスポーツ、障害者スポーツの振興状況について、進めている取組があれば教えていただきたいです。また、今後取り組むべき課題を考えられているのであれば、そちらについてもぜひお願いします。

大畑生涯学習課長 障害者向けのパラスポーツにつきましては、福祉支援課とともに、11月に中間市体育文化センターにおきまして、福岡県筑豊ブロックパラスポーツ中間大会が開催されました。パラスポーツの推奨につきましては、福祉支援課と両輪で推進しているというところでございます。

蔵元教育長 パラスポーツは、私も昨年行きました。若い方の参加者が増えて、もっと会員であったり、そういった参加選手の拡充と種目についても、充実

を図っていけるような工夫をしてほしいと思います。

その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。田中教育委員。

田中教育委員 体育文化センターの行事で、卓球に関する行事が幾つか入っていると思
いました。中間市は全国的に見ても卓球で有名な高校がございいますが、
この中のジュニア卓球教室というのは、例えば希望が丘高校の卓球部の
子供たちが指導するとか、そのようなことを実施している教室なのか教
えてください。

大畑生涯学習 ジュニア卓球教室につきましては体育文化センターの自主事業で行って
課長 おりまして、対象は年中さんから小学校6年生まで、毎週金曜日に行わ
れ月額受講料としては3,200円となっております。
講師の方は、地元で指導されている講師の方をお招きして、講座を行っ
ておるところでございます。結構、盛況でやっております、参加率も
高いと思っております。自主事業の目玉事業の1つと位置づけておりま
す。高校生は指導にきておりません。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。太田教育委員。

太田教育委員 ハーモニーホールの英語講座についてです。年度途中からスタートした
かと思いますが、こちらの子供たちの参加状況が開催当初から変わら
ず、皆さんご参加されているのかどうか教えてください。関連して、こ
れは小学校だと思いますが、かなり子供たちの英語力にレベル差がある
のではないかなと思っております、学年別で分けているようなので
すが、場合によっては、レベル別で参加できて良いのかという気もして
おります。その辺りについても、もしお聞かせいただけるようでありま
したらよろしくお願いいたします。

大畑生涯学習 英語講座につきましては、財団の後期の目玉事業として位置づけており
課長 まして、精力的に講座を行っております。
クラス編成としましては、1・2年生のクラス、3・4年生のクラス、
5・6年生のクラスで構成しておりますが、ある程度時期が進みまし
て、それぞれの生徒の習熟度が分かったところで、さらに細かい分類分
けをして、実施していると聞いております。
また、参加率は比較的高いのですが、昨今インフルエンザが流行ってい
る関係上、病欠が多少出てきているところはございますが、おおむね好

評に推移していると聞いております。

蔵元教育長 この事業については、今年度の途中から試行的に始めたところで、英語教育という、市長の目玉政策の1つでもあります。この半年間の検証をしっかりとやって、当然これは新年度も拡充していく予定なのではないでしょうか。

大畑生涯学習課長 予算は現在要求しているところですので、来年度も拡充した形で続けていけたらと考えております。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。鶴田教育委員。

鶴田教育委員 先ほど、目玉事業の1つが卓球教室だというお話があったかと思いますが、中間市としても健康づくりにおいて、卓球を進めているのですとか、メディアに向けて「卓球のまちとして盛んです」のような発信はされているのか教えてください。

大畑生涯学習課長 今のところ、卓球を前面に押し出して、PR というところまではやっていないのですが、ただ卓球としては、当然中間市としては精力的にやっておりますので、その形については支援を行っていきたいと考えておるところでございます。

鶴田教育委員 そんなに強い高校もあつたり、輩出している人材がいるのであれば、もっとPRしていただきたいと感じました。

蔵元教育長 卓球については、先ほどもジュニア卓球教室でも本当に幼い子供から高齢の方まで幅広い年齢層が楽しむ、親しむスポーツとなっておりますので、中間市としても何らかの工夫をして、さらに広がっていくようにやっていきたい、やっていただきたいと考えております。
その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。
それでは、昨日の雨で施設の雨漏りが発生した件について、部長から報告とその対応について説明をお願いします。

清水教育部長 ご報告させていただきます。昨日少し雨が降りました。その中で、体育文化センターのステージ横が雨漏りいたしまして、一部使えないような状況になりました。それで今年度予算いただき、昨日業者が決まりました。

たので、早急に改修工事を進めたいと思います。

あわせて、ハーモニーホールでも大ホールのステージ上のところで雨漏りが発生いたしております。これも、雨水管が一部、これははっきりしておりませんが、先日ありました地震の影響で管が割れたり、つないでいるところが外れているとのことで、そこから雨漏りがしているという状況が確認されております。こちらも早急に対応したいと思っております。

蔵元教育長

いずれの施設も、指定管理者制度を導入しておりまして、ハーモニーホールにおいては大ホールであったり、収益が多く見込まれるところであったり、体育文化センターについても、雨漏りをしたことによって使用料の収入が減ったり経営にも非常に大きく影響を与えることです。本市の財政状況等々は分かってはいますが、今後はこういったところで、予防保全的な改修ができるように教育委員会としてもやっていただきたいと思っております。

それでは、続きまして報告事項の中間市新中学校施設整備実施計画

(案)に関する市民意見提出手続(パブリックコメント)の実施について説明をお願いします。

山口教育総務
課長

それでは、中間市新中学校施設整備実施計画(案)に関する市民意見提出手続(パブリックコメント)の実施につきまして、ご説明いたします。

本日は資料として、こちらの計画案の冊子と、計画案の概要版をご準備しております。説明につきましては、概要版の方で説明させていただきます。

今回のパブリックコメントにつきましては、新中学校施設でございます中間中学校と中間東中学校の敷地を活用した将来にわたって持続可能な学校施設の整備について、様々な角度から調査分析、検討した中間市新中学校施設整備実施計画(案)について、広く市民の皆様からご意見をいただき、計画案にご意見を反映させるために、実施するものです。

意見の募集期間は、2月10日火曜日から3月11日水曜日までの1か月間としております。

それでは、計画案の内容につきましては、概要版にてご説明させていただきます。

1 実施計画策定の目的と経緯です。

近年、少子高齢化や情報化等によって大きく変化している教育環境に対し、多くが築50年以上を経過している中学校校舎では、教育内容の充

実や変化への対応が困難な状況です。このため、令和4年4月に中間市学校施設再編基本計画、令和7年1月に中間市学校施設整備方針を策定し、将来にわたって持続可能な学校施設の整備に取り組んでおります。実施計画は、これらを踏まえ、教育環境の充実とともに、地域活動や災害時の拠点としての機能を併せ持つ新中学校の整備に当たり、基本的な考え方を示すものであり、より詳細な検討及び設計を行う際の指針となるものです。

2 計画コンセプトと基本方針です。

計画コンセプトは、地域とともに未来を拓き育む、次世代の新中学校です。

新中間中学校と新中間東中学校は、市の中心部に近接し、交通の利便性が高く、人・まち・地域とのつながりが強い地域に立地しています。現状の敷地が抱えている課題を早期に解決することで、良質な教育環境を確保し、また、地域が主体的・多元的に参加しながら、地域全体で創り上げる新しい中学校は、新たな地域コミュニティの拠点として地域の活性化に寄与していくと考えております。

今回、基本方針として4つ項目を掲げております。

1 安全安心な学びの場。 2 未来を見据えた計画。 3 地域とともにある学校。 4 環境・防災・経済性です。

3 既存校舎の概況です。

既存の両中学校とも、建築後50年以上が経過しており、外壁のひび割れや雨漏り等の現象が発生し、部分的な老朽化対策や施設更新等の整備を実施してきました。しかし、今回実施した耐力度調査の結果から、中間中学校は校舎の3分の2の範囲、中間東中学校は校舎のすべての範囲が十分な安全性を確保できていない状態である可能性が高いと考えられますので、生徒の安全・安心な学びの場となる充実した教育環境を整備することが喫緊の課題でございます。

4 施設整備手法の検討と方針です。

新中学校の施設整備では、個別最適な学びと協働の学びの実現に向け、生徒が安全かつ快適に学ぶことができる教育環境の充実を図ることが求められています。一方で、学校施設は市民の財産であり、その有効活用やライフサイクルコストの縮減等を含め、最善の方法を検討する必要があります。そこで、長寿命化改修と新築を多角的に比較いたしました。ライフサイクルコストを比較したところ、新築の方が40年間で約20億円のコスト削減が見込まれること、先ほども3既存校舎の概況でご説明いたしました耐力度調査の結果、生徒の教育環境として十分な安

全性を確保できていない可能性が高いこと、また、長寿命化改修は、構造上の制約から大規模な空間構成が困難であり、教育的ニーズへの対応には限界があります。

以上のことから、新中学校の施設整備は、教育の質の向上・地域コミュニティの活性化・長期的な財政効率化・安全性の確保等、多面的な価値を生み出す未来を見据えた戦略的投資と捉え、新築を選定しております。

5 学校給食施設についてです。

現在、小中学校の給食は、小学校で調理して中学校に配送する親子方式による完全給食を実施しています。小学校再編を視野に入れ、これからの学校施設にとって最適な提供方法を検討した結果、子供たちの食生活をより豊かにする食育環境を実現すること、災害時の炊き出し等が可能となる地域防災拠点としての機能強化に寄与することから、新中間中学校及び新中間東中学校に学校給食施設を新設し、小学校へ配送する計画としております。

続きまして、6 事業スケジュールです。

これまで令和10年4月を新中学校の開校目標として学校再編の取組を進めてまいりましたが、今回、校舎、体育館、武道場等の整備の方向性、両敷地の課題である敷地内段差や法面、アクセス道の整備の方向性を検討した結果、開校目標を改めることとなりました。

新中間中学校は、令和8年から9年にかけて、基本設計・実施設計業務、令和10年の半ばから令和12年半ばまで新校舎の建設工事等を行い、新校舎が供用できる状態になり次第、使用することを想定しております。

新中間東中学校は、令和8年から9年にかけて、基本設計・実施設計業務に加え、造成設計、仮設校舎の設計業務を行います。後ほどご説明いたしますが、新中間東中学校は、敷地内段差の解消及び法面、アクセス道の課題を解消するため、敷地内の全面造成を行う整備計画としております。そのため、現中間東中学校の生徒は、新校舎整備のため、一時的に別の場所に移動していただく必要がございます。そこで、現時点では、令和10年4月に一時的な移動先として、中間南中学校敷地を想定し、移動とともに、中間東中学校と中間南中学校を先行して再編を行い、新中学校とする計画です。その後、中間東中学校敷地では、令和12年半ばまで造成工事を約2年間行い、その進捗状況をみながら、令和12年から新校舎建設工事や外構工事等を行い、令和13年度末の新校舎の供用開始となります。今回の検討により、令和14年4月に新中

学校2校への再編が完了することを目標に取組を進めてまいりたいと考えているところでございます。

7建設概要です。

新中学校の両計画地は、敷地内段差や狭溢なアクセス道、擁壁や法面の劣化等、様々な課題を抱えています。各計画地の現況を把握し、対応策を踏まえ、新中学校に必要と考えられる機能について検討し、敷地の形状や施設整備の考え方を整理いたしました。

まず、新中間中学校は、校舎面積約8,700㎡、鉄筋コンクリート造・3階建て、普通教室9クラスを想定し、概算事業費は約73億6千万円と試算しております。

配置ゾーニングイメージは、新校舎を敷地の中段に配置し、利便性・アクセス性の向上、JR本線から十分に離隔することによる学習環境の確保や仮設校舎を不要とする計画を実現しています。段差部分には、構内通路や屋外階段・スロープを設置し、各レベルにアクセスしやすい安全な動線を確保しています。また、遠賀川西部地域分を担う学校給食施設の併設、小学校や学童保育所の併設を見据えたスペースの確保等、将来的な計画に柔軟に対応できる配置計画としております。

新中間東中学校は、校舎面積約11,750㎡、鉄筋コンクリート造、4階建て、普通教室24クラスを想定し、概算事業費は約119億6千万円と試算しております。

配置ゾーニングイメージは、複雑かつ高低差のある敷地形状と狭溢なアクセス動線を改善するため、先行して全面造成工事を行います。近接する中間南中学校を一時統合校として整備し、新校舎棟は既存校舎の位置に建替え、グラウンドを最大限に確保します。広域な校区を踏まえ多方面からのアクセス動線を整備し、歩車分離を徹底することで、登下校の利便性と安全性を確保いたします。また、遠賀川東部地域分を担う学校給食施設を併設する配置計画としております。

以上につきまして、今回、パブリックコメントを実施いたします中間市新中学校施設整備実施計画(案)の概要でございます。

蔵元教育長 只今の説明について、ご意見ご質問等はございますでしょうか。八木教育委員。

八木教育委員 パブリックコメントの概要については、説明伺いました。パブリックコメントのやり方ですが、まず周知の方法と、これまでもパブリックコメントを2度ほど実施されていますけれども、提出方法はメ

ール、ファクスと手書き等々ありますが、他に何か新しい方法とかがあるのか教えてください。

山口教育総務課長 パブリックコメントの周知の方法につきまして、ご説明させていただきます。まず周知方法としては、今回広報なかまの2月号に、パブリックコメント実施の記事を掲載させていただくこととしております。その他、中間市のホームページでの掲載、市役所1階の情報公開コーナーでありましたり、教育総務課、それから、なかまハーモニーホール内にある中央公民館、中間市民図書館、ハピネスなかまの本館、人権センター、地域交流センターに今回の計画案と概要版を配置して閲覧できるような状態にしておきたいと考えております。

また、保護者の方にもぜひ知っていただきたいと考えておりますので、今回パブリックコメントが実施されますことを安心メール等で通知させていただいて、ホームページに掲載されていることをご案内していきたいと考えております。全体に対しては、広報なかまでお知らせして、保護者の方には安心メール等で周知していきたいと考えているところでございます。それから、提出の方法につきましては、今回も前回同様でファクス、電子メールもしくは持参、郵送の4つの対応を進めてまいりたいと考えているところでございます。

八木教育委員 1か月とかなり長い期間で募集することになります。より多くの意見をいただくという観点からみても、今まで保護者と教育委員会事務局の方が密にコミュニケーションをとってききましたので、例えば会長会であったり、団体としても出せるパブリックコメントでもあります。また、各学校のPTAだとか、あと会長会を使つての周知やパブリックコメントを出すために話し合ってくださいという働きかけもすると良いと思いますので、そういったところもまた考えていただければと思っております。

山口教育総務課長 周知の方法につきまして、多くの方にご意見をいただきたいと思っておりますので、取り組んでいきたいと思っております。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。田中教育委員。

田中教育委員 事業スケジュール6番のところ聞いていおりますと、新中間東中学校の造成工事が令和10年度から12年度ということで、それに伴って南中と一時統合併用開始ということをお聞きしたのですが、東中の生徒が南

中に通うということでしょうか。そうするという事は、南中学校に何か臨時なものを建てるということでしょうか。

山口教育総務課長 今回事業計画の中で、令和10年4月に中間東中学校の生徒の皆さんを南中学校に移動していただいて、そこで、東中学校と南中学校を新しい1つの学校としていきたいと考えております。その中で、南中学校で改修であったり、足りない分は仮設校舎等をつくりまして、対応していきたいと今回の事業計画の中では検討したところでございます。

田中教育委員 もう1点は中学校区についてです。これについては、別の組織で話合いがされると聞いていたのですが、その進捗状況が分かれば教えてください。

山口教育総務課長 校区につきましては、通学区域審議会で10月から検討を開始いたしまして、明日また会議があります。明日の会議の中では、前回の会議までである程度の新中学校の通学区域の案が固まりましたので、答申案を明日の会議でお示しして、明日承認されれば、その校区で答申をいただくような形で進めているところでございます。

田中教育委員 恐らく、保護者生徒にとっては、通学区域が1番関心が高く、いろいろな意見が出るのも、そこが1番多いと思っています。その辺りのプロセスは、丁寧にやった方が良いのかなと思っていますところでは。

山口教育総務課長 今回実施計画案が固まりまして、通学区域も固まっていくことになりました。今後、周知は、丁寧に進めてまいりたいと考えているところでございます。来年度以降、保護者の方、地域の方に委員さんになっていただいております開校準備協議会を運営しながら、学校再編の取組について進めてまいりたいと考えております。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。八木教育委員。

八木教育委員 先ほどの一時統合校についてです。南中に一時的に東中の生徒を統合して運営するという形になると思いますが、このスケジュールを見ると令和10年度ですので、もう約2年後のことです。その2年間の間に例えば、細かい話ですが南中に最も距離のある土手ノ内だとかそういったと

ころから徒歩で行くのかとか、どのように登校するかとか、そういったことを話し合う場面、機会というのがあるのか教えてください。

山口教育総務課長 開校準備協議会の中で議論していく形になります。保護者の方も入っていただいておりますので、その中で開校に向けて、通学も含めて様々な問題と課題が生じてくると思いますので、1つ1つ解決しながら、子供たちにとって、保護者の方にとって、教職員の方にとってもより良い環境になるよう、この2年間で、2年間といっても、1年半ほどしかないと考えておりますので、来年度以降、進めていきたいと考えております。

八木教育委員 もう2年後という、あっという間に過ぎてしまいます。開校準備協議会もこれから立ち上がるということですが、やはり気になったのが、通学の仕方です。この期間を見ると統合期間が3年半から4年にかけてになりますので、本来東中に通う子供がまるまる東中に通わないという子供が出てくる。あとは保護者にとって気になるのは、どうしても受験時期に何かばたばたすると、そっちのほうに振り回されてしまわないかという点が気にかかります。生活に慣れてしまえば、そこまではないと思うのですが、やはり、その期間にかかってしまう子供さんとか、保護者に対する十分な説明と配慮をいただければと思っております。

山口教育総務課長 八木教育委員がおっしゃっていただいたように、工事期にかかる生徒の皆さんにとって非常に重要なことだと思っております。子供たちに対する支援策というのは、しっかりと考えていかないといけないと考えております。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。鶴田教育委員。

鶴田教育委員 これまでのお話の中で、子供が主体である子供ファーストですとか、誰1人取り残さないこと、学びに向かう力の育成ですとか、学びたいと自らが思える教育、そうした理念が非常に強く打ち出されているなど受け止めております。一方で、それを実現していくためには、子供だけではなく、教員にとっても見守りやすさや気づきの得やすさ等々必要だろうと思っております。

今回設計されている校舎やその運用を含めた実施計画といいますのは、こうした考え抜かれた理念というのが、実際に実装されて具現化されて

いるものではないといけないと思いますし、中間市は誰1人取り残さない教育を本気で考えていると感じていただけるものでなくてはいけないと思っています。ですので、新しい、きれい、段をなくした安全というのは当たり前で、プラスアルファその思いの部分などを4つの基本方針を説明される際に、丁寧にぜひ熱意を持って皆さんにお伝えしていただければありがたいなと思いました。

山口教育総務課長 校舎だけではなくソフト面も重要であると考えておりますので、生徒、保護者、そして先生方にとって、より良い学校となるよう努めてまいりたいと考えております。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。太田教育委員。

太田教育委員 パブリックコメントについて、広く様々な意見を集めていくというのは非常に重要なことだと思っておりますし、今後の流れというのは、とてもよい流れになっていると思います。パブリックコメントが集まった後の取扱いについてです。もちろん集約されて、それを整理してということになると思いますが、意見を反映できるところは反映させていくことになると思うのですが、今後のパブリックコメントを集め終わった後の大まかな流れと、あと取扱いがわかりましたら教えてください。

山口教育総務課長 今回3月11日までにパブリックコメントをいただきましたら、いただいたご意見について、特に個別の回答というは行わないのですが、教育委員会の考え方をまとめさせていただきます、その考えを計画書と一緒に公表させていただきたいと考えております。
いただいた意見の中で、計画に反映すべき、反映しなければいけないものは反映させていただきます、その他については考え方を公表していくという形で進めてまいりたいと考えております。
今後、3月末を目指して、実施計画の策定を進めてまいりたいと考えているところでございます。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。
ないようですので、続きまして協議事項でございます。
令和8年3月定例教育委員会の日程について説明をお願いします。

山口教育総務課長 3月の定例教育委員会の日程につきましては、3月の定例市議会の日程を考慮いたしまして、2月27日金曜日14時から会場は本館3階第2・第3会議室を予定いたしております。ご協議をよろしく願いいたします。

蔵元教育長 日程等はいかがでございましょうか。

教育委員 <<了承>>

蔵元教育長 ありがとうございます。それでは、そのように決定いたします。続きまして、協議事項その他のところで何かございますでしょうか。ないようですので、これをもちまして、令和8年2月定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

[閉会時刻：11時01分]

令和 8年 2月 27日

教育委員 田中 健一郎

教育委員 八木 秀和